

機械器具 32 医療用吸引器
一般医療機器 再使用可能な汎用吸引チップ (38749000)

スプタバキューマー (SPUTA VACUUMER)

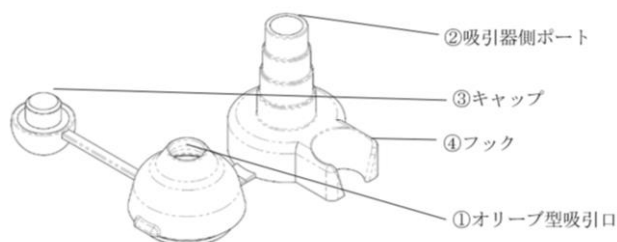
【禁忌・禁止】

- ①オリーブ型吸引口を接触して吸引、⑤吸引カテーテル等接続ポートに吸引カテーテル等を接続して吸引、⑥気管切開チューブや気管チューブからの喀痰等接触吸引部に気管切開チューブや気管チューブを接触して鼻孔や永久気管孔の鼻汁や喀痰等を吸引する以外の目的で本品を使用しないでください。[身体の損傷や健康被害が発生するおそれがある。]
- 他の人が使用した本品は使用しないでください。[感染症を発症する可能性があるため。]
- 鼻孔、気道に傷、または出血がある場合は、本品を使用しないでください。[出血を助長するため。]

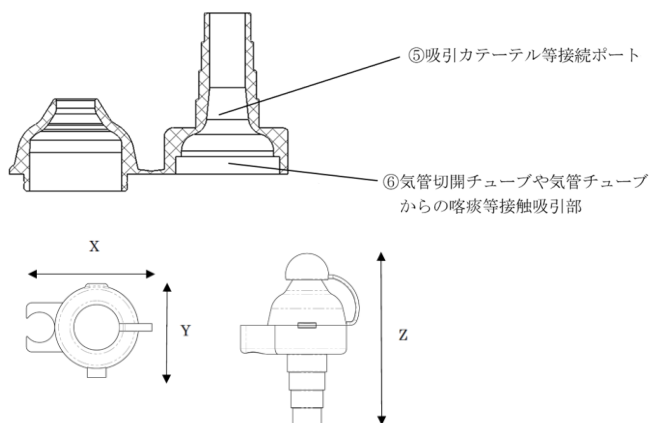
【形状・構造及び原理等】

〈形状・構造〉

1. 外観形状



断面図 :



2. 寸法

寸法 : X 33×Y 24×Z 48 mm

吸引器側ポート

最大直径 : ϕ 11 mm

最小直径 : ϕ 8 mm

吸引カテーテル等接続ポート

最小直径 : ϕ 6.2 mm

【使用目的又は効果】

吸引源及び医療用吸引器 (吸引源) からのホースと接続することにより、以下の 3 つの方法で鼻孔や永久気管孔の鼻汁や喀痰等を吸引することができる。

- ①オリーブ型吸引口を接触して吸引
- ⑤吸引カテーテル等接続ポートに吸引カテーテル等を接続して吸引
- ⑥気管切開チューブや気管チューブからの喀痰等接触吸引部に気管切開チューブや気管チューブを接触して吸引

【使用方法等】

1. 準備

汚染に十分に注意し、本品を包装から取り出す。消毒する場合は、消毒用アルコールを使い消毒する。

2. 吸引

- オリーブ型吸引口を接触して吸引する場合
 - 吸引源及び医療用吸引器 (吸引源) からのホースと確実に接続する。
 - オリーブ型吸引口を接触し、鼻汁や喀痰等を吸引する。
- 吸引カテーテル等接続ポートに吸引カテーテル等を接続して吸引する場合
 - 吸引源及び医療用吸引器 (吸引源) からのホースと確実に接続する。
 - 吸引カテーテル等接続ポートに吸引カテーテル等を確実に接続し、鼻汁や喀痰等を吸引する。
- 気管切開チューブや気管チューブからの喀痰等接触吸引部に気管切開チューブや気管チューブを接触して吸引する場合
 - 吸引源及び医療用吸引器 (吸引源) からのホースと確実に接続する。
 - 気管切開チューブや気管チューブからの喀痰等接触吸引部に気管切開チューブや気管チューブを接触し、喀痰等を吸引する。

3. 使用後

再使用する場合、付着している鼻汁や喀痰等を廃棄して微温水、必要に応じて石けん又は中性洗剤で洗浄する。洗浄後は十分に乾燥させる。

【使用上の注意】

- 使用前に、本品に傷や汚れがなく、清浄な状態であることを確認してください。汚損されている場合には、使用しないでください。[感染症を発症する可能性があるため。]
- 本品は、一人につき 1 個の使用を目的としています。他の人が使用したものは使用しないでください。[感染症を発症する可能性があるため。]
- 使用後は、常にきれいに洗浄して、乾燥させてください。[感染症を発症する可能性があるため。]
- 吸引前後に聴診と加圧換気を行い、呼吸音の改善を確認してください。[低酸素症及び無気肺を発症する可能性があるため。]

* 〈使用注意（次の患者には慎重に適用すること）〉

- 嚢胞性肺気腫の病歴がある、気胸又は気縦隔症に罹り易い、あるいは最近何らかの気圧障害に罹った患者に本品を使用する場合は、使用前に医師に相談する。〔肺構造に損傷を与える可能性がある〕
- 横隔膜ヘルニアの病歴がある患者に本品を使用する場合は、使用前に医師に相談する。〔腹部臓器の一部が胸腔内へ脱出する恐れがある〕

【保管方法及び保管条件等】

〈保管方法〉

直射日光、及び高温多湿（結露なきこと）での長期間の保管を避け、清潔な場所で保管してください。

〈使用期限〉

使用期限はラベルに記載（自己認証（当社データ）による）

【保守・点検に係る事項】

他の人が使用した本品は使用しないでください。

本体は微温水と石鹼または中性洗剤で洗浄し乾燥させます。
消毒する場合は、消毒用アルコールを使い消毒してください。

高温蒸気滅菌、ガス滅菌、紫外線滅菌はしないでください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：

栃木精工株式会社

〒328-0012 栃木県栃木市平柳町2丁目1番5号

TEL：0282-27-1133